

令和7年 大山崎町議会 第4回定例会

一般質問通告書

1. 井上 治夫
2. 辻 真理子
3. 島 一嘉
4. 西田 光宏
5. 堀内 古比呂
6. 波多野 広砂
7. 小畠 孝信
8. 朝子 直美
9. 山中 一成
10. 徳本 修司

令和7年大山崎町議会第4回定例会一般質問（①-1/2）

質問者	井上治夫（日本共産党議員団）	
質問事項	答弁を求める者	
1. 住民の福祉向上に応えるため正規職員の増員を求める。		町長
<p>（1）人手不足が社会問題となっている。向日市や長岡京市のように、正規職員を増やすことを求めるがいかがか。</p> <p>（2）不登校、虐待、自殺、発達障害などが増えている。児童福祉を担う職員の増員を求めるがいかがか。</p> <p>（3）老朽化が進む公共施設改修を担当する職員を増やすことを求めるがいかがか。</p>		
2. 公立保育所、小中学校の改修を計画的に進めることを求める。		町長 教育長
<p>（1）公立保育所の屋上防水や外壁塗装工事以後の改修計画を問う。</p> <p>（2）公立保育所のトイレ改修の進捗状況を問う。</p> <p>（3）公立保育所のエアコンの改修計画を問う。</p> <p>（4）小学校の屋上防水と外壁塗装工事以後の改修計画を問う。</p> <p>（5）不要となった小学校パソコンルームを転用するための改修計画を問う。</p> <p>（6）各学校のエアコンの改修計画を問う。</p>		
3. 安心安全な水道水を低廉で供給することを求める。		町長
<p>（1）酷暑と言われる夏場に、地下水比率を増やして冷たい水道水を供給することを求めるがいかがか。</p> <p>（2）高い水道料金を下げるため、京都府に府営水の負担軽減を求めるとともに、物価高騰などの対策で実施したように、一般会計か</p>		

令和7年大山崎町議会第4回定例会一般質問（①-2/2）

質問者	井上治夫（日本共産党議員団）	
質問事項		答弁を求める者
らの繰り入れで水道料金の減額を検討することを求めるがいかが か。		

令和7年大山崎町議会第4回定例会一般質問（②-1／1）

質問者	辻 真理子（日本共産党議員団）	
質問事項	答弁を求める者	
1. 町内の地域公共交通について	町長	
<p>昨年令和6年10月1日から町営バス実証実験が開始し、地域公共交通会議も開催されている。会議では町営バス実証実験の分析や、タクシー事業者との意見交換等が行われている。そこで以下お聞きする。</p> <p>(1) 町営バス実証実験の進捗を問う</p> <p>(2) 有償に向けて料金設定や、また住民への周知についてどのように考えているか。</p> <p>(3) 「バス停が分かりにくい」との声がある。改善が必要と考えるがいかがか。</p> <p>(4) 2台目運行時のバス停やルート変更について検討状況を問う。</p>		
2. 中学校部活動の地域移行について	教育長	
<p>(1) 京都市や近隣で部活動の地域移行の動きがあり、本町での動向に生徒や保護者は関心を寄せられている。地域移行について町の考え方を問う。</p> <p>(2) 先ずは、児童、生徒や保護者にアンケート調査をおこなうべきと考えるがいかがか。</p> <p>(3) 子ども達や学校関係者、地域のスポーツ関係者等との検討会を開催してはいかがか。</p>		

令和7年大山崎町議会第4回定例会一般質問（③-1／1）

質問者	島一嘉（安心）	
質問事項		答弁を求める者
1. 全国的な緊急地震速報の11月5日訓練について		町長
<p>（1）11月5日（水）午前10時より、緊急地震速報の全国的な訓練を実施する予定でしたが、町のシステム設定の誤りにより情報発信はできませんでした。訓練の重要性、再発防止をどのように考えるのか。</p>		
2. 物価高騰対応重点支援地方創生臨時国庫交付金について		町長
<p>（1）エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対し、地方公共団体が地域の実情に合わせて必要な支援をきめ細かに実施できるよう、重点支援地方交付金を「推進事業メニュー」実施のために追加されたものである。物価高騰の影響を受けた生活者や事業者とは、どのように考えるか。</p>		
<p>（2）上記（1）の対象に対し、どのように対処しますか。</p>		

令和7年大山崎町議会第4回定例会一般質問（④-1／2）

質問者	西田光宏（大山崎クラブ）	
質問事項	答弁を求める者	
1. 町民の安心・安全対策の強化について		町長
<p>鳥獣被害（熊出没含む）ならびに、竹林被害ノメイガ類（シナチクノメイガを含む）の現状と課題について</p> <p>（1）近隣市町（長岡京市・島本町）で熊の目撃情報があったと聞くが、本町における鳥獣被害情報の伝達体制および、住民への注意喚起、被害防止策の現状と課題について問う。</p> <p>（2）農林被害、主に筍のノメイガ類による被害状況、また生活圏への出没を踏まえた鳥獣害対策の強化方針（捕獲体制、電気柵、地域協力体制等）について問う。</p>		
2. 府道・町道の安全対策と点検体制について		町長
<p>（1）道路や歩道の損傷、側溝の劣化、またカーブミラー等の点検状況および危険箇所把握方法について問う。</p> <p>（2）住民からの通報や補修についての要望、また府道に関しては京都府との連携などの現状そして、今後どの様な安全確保策や補修計画を作り取組強化をするのか具体的な対策とを問う。</p>		
3. 町財政の現状と将来の見通しについて		町長
<p>（1）令和6年度決算で実質単年度収支が約8,378万円の赤字となり基金取り崩しで補填した現状について、町の認識を問う。</p> <p>（2）法人税収減により歳入ピークは過ぎたとの見解を踏まえ、中期的な財政健全化の方針と改善策を問う。</p>		

令和7年大山崎町議会第4回定例会一般質問（④-2／2）

質問者	西田光宏（大山崎クラブ）	
質問事項		答弁を求める者
4. 観光資源・歴史や文化を活かした地域活性化について		町長
<p>（1）本町の歴史や文化的資源を活かした観光振興策、特に寄付を受けた「円明寺御茶屋池」の現状と課題について問う。</p> <p>（2）来訪者の増加、周遊性向上、地域事業者との連携強化など、観光を通じた地域経済活性化の今後の方向性を問う。</p>		

令和7年大山崎町議会第4回定例会一般質問（⑤-1/2）

質問者	堀内 古比呂（日本共産党議員団）	
質問事項	答弁を求める者	
1. 円明寺ヶ丘団地の将来について		町長
<p>（1）令和4年度～6年度にかけて実施されてきた「円明寺ヶ丘団地再生支援事業」の成果と今後の課題を問う。</p> <p>（2）今年度の「円明寺ヶ丘団地再生支援事業」の実施時期と内容について問う。</p> <p>（3）町が進めようとしている「コミュニティ協議会」の進捗状況及び課題を問う。</p> <p>（4）住民同士のコミュニティ形成が大切だと思うが、町として具体的な援助を検討しているか。</p> <p>（5）円明寺ヶ丘団地住民の高齢化が進んでいる。若い人の転入・定住を促進するため、住宅リノベーション助成制度を実施してはいかがか。</p>		
2. 食材が高騰しており、このまま経過すれば来年度からの給食費保護者負担増が心配される。状況はいかがか。		教育長
3. 大山崎町のごみ行政について		町長
<p>（1）缶やペットボトルなどの資源ごみ拠点回収ステーション選定の進捗を問う。</p> <p>（2）駅前に、ごみの不法投棄が見受けられる。清掃員を配置するなどの対策を行うべきと考えるがいかがか。</p> <p>（3）12月1日から開始された指定ごみ袋制度について、発生してい</p>		

令和7年大山崎町議会第4回定例会一般質問（⑤-2／2）

質問者	堀内 古比呂（日本共産党議員団）	
質問事項		答弁を求める者
る問題とその対策を問う。		

令和7年大山崎町議会第4回定例会一般質問 (⑥-1/7)

質問者	波多野 広砂 (のぞみ)	
質問事項		答弁を求める者
前川光共産与党町政を「前川光共産」の旨以下表現とする。		
尚、本質問は11月4日付で作成。		
9月議会終了後突然異例となる時期において総務部長と教育次長の交代。人事異動を実施したが議員への無通告の実態。		
前川光共産現職の政治姿勢について問う。以下関連事案について項目別に伺う。		
【指摘】かつてのヒトラー(独)独裁政治の全権委任法の手法による歴史があるが、彷彿の如し野党議員の務めとして伺う。		
従ってこの度の交代劇の真実について、前川光共産現職が指揮した係る理由を検証すべきは、イチ議員の務めとして伺う。		
1. 令和6年度決算について		町長
(1) 令和6年度決算は赤字8377万円の責任を担当部長職転嫁で、前川光共産現職の責任回避口実の為。反論できるか。		
(2) 尚、言い訳無用。赤字に至る経営能力疑義が生じている。反省項目と係る対応策を列記して下さい。		
(3) 公的質疑の中で7年間の玉突き三昧は、役場定時時間中の指摘に前川光共産現職、本年7年度から停止と今迄を認めた。		
公の場で前川光共産現職が役場定時時間内にほぼ毎日の複々数の噂どおりの実態を認めた。		
ペナルティーは当然であり、給与の一部カットでの自己返納が人の筋として尋ねる。答弁を求める。		

令和7年大山崎町議会第4回定例会一般質問 (⑥-2/7)

質問者	波多野 庵砂 (のぞみ)	
質問事項		答弁を求める者
(4) 「同」決算に埋蔵文化財・収蔵施設実施設計業務委託料 972万円のロス資金発生は、イロハの欠如の責任を部下に押し付けた。尚、経緯の中で、議会から問題点を具体的に示し、係る解消を答弁を求めるも、強引に町民の資金を無断支出した責任の損害は、前川光共産現職の100%の損失原因であり、係る損失の全負担を求める答弁を明確として下さい。民間では代表者の負担となる。		
<p>2. 複合施設について</p> <p>「同」決算に複合施設基本計画見直し業務委託料 990万円のロス資金の発生の理由とは、2階フロアに万一の侵入水が及び兼ねず。会派「のぞみ」の指摘は</p> <p>①前川光共産現職が水災時に620人定員避難とするには、床面を高くする設計の修正費用であるが。</p> <p>②しかしそもそも浸水想定地からの浸水地。公民館への避難はあり得ないが。</p> <p>③突然の思い付き、前川光共産現職の指揮によるロス資金である。</p> <p>【結論】2階の床面に1mの侵入水となり兼ねずについてである。</p> <p>(1) 担当部局長への責任転嫁ではないのか。責任は前川光共産現職の無知に起因する。答弁を求める。</p> <p>【説明】</p> <p>町内への浸水という熊は何処から?に対して答弁～桂川 18. 4</p>		町長

令和7年大山崎町議会第4回定例会一般質問 (⑥-3/7)

質問者	波多野 庵砂 (のぞみ)	
質問事項		答弁を求める者
<p>mからの越水高分から浸水が始まるとした。</p> <p>会派「のぞみ」の指摘</p> <p>R 171の路面海拔17.4mについて答弁で認めた。</p> <p>⑩ 全町民に今迄の嘘を認めて、仮にR 171からの侵入水分 +町内の雨量UP～天王山からの表面水で、仮に1mプラス で18.4mとなる浸水。</p> <p>【算式】侵入水高18.4m - 公民館海拔13.7mの地面 = 公民館4.7m 2階の床面の高さ - 新公民館の床面4.5 m、答弁で修正した。先の答弁である。</p> <p>【⑩それでも結論】約20cmの2階への620名の避難者の床 上に、ドロ水の可能性ありの想定を説明すべきとなります。</p> <p>(2) 尚、現状における科学的・物理的反論はあるか。答弁を求める。</p> <p>⑩不動産の重要事項の説明項目には、事実・実態の項目について、タイトル～水災時における2階床面への浸水可能性がある旨の記載が必要且つ万全となる。要注意地域となる。～何故なら万一の被害で説明誤り又は不記載となり兼ねず。</p> <p>(3) 各法律による指摘ハザードマップに明記明示すべきを指摘するとして、前川光共産現職の答弁を明確として下さい。</p>		
<p>3. ふるさと納税について</p> <p>(1) 9月決算でふるさと納税運用収益バランス大幅赤字について。</p>		町長

令和7年大山崎町議会第4回定例会一般質問 (⑥-4/7)

質問者	波多野 庵砂 (のぞみ)	
質問事項	答弁を求める者	
<p>前川光共産現職の不作為放置無責任が明確なった。しかし担当部の責任とした形の突然の人事異動を見てとれる。前川光共産現職の責任である。答弁を求める。</p> <p>(2) 新しいふるさと返納品開発について、現状に新着手案のプログラムの有無を問う。</p>		
<p>4. 農業用ポンプについて</p> <p>9月議会ではポンプ再開となる。</p> <p>2千万円の計上予算が示されて可決したについて。</p> <p>尚、反論は会派「のぞみ」</p> <p>【説明】質疑の応酬語録での説明とします。</p> <p>①該当全エリアは～約20棟の賃貸住戸の完成で、農地減且つ宅地分譲で後継者不足等々激減の中どうゆう事か。</p> <p>答弁の実態を求めるも14枚の農地の説明。当方単独で現地視察。(内)の7枚の稻作を確認した。水不足？</p> <p>②ポンプ使用は三年前からの故障で使わずの答弁。事実ミドリでポンプ無くても育っている。水は何処から。</p> <p>【答弁】久保川表流水から。クリア。</p> <p>③当方の指摘～久保川の地中内水流水はほぼ同じ～久保川地上水面もほぼ同じ。水田耕作どんどん減少の中、ポンプに2千万円。7枚の田に2千万円とは、1枚の田に￥285万円の全町民の資金投入は公平性適正化の否かの問題。</p>	町長	

令和7年大山崎町議会第4回定例会一般質問（⑥—5／7）

質問者	波多野 庵砂（のぞみ）	
質問事項		答弁を求める者
	㊟今も今迄も大池の水利用でクリア。使えば問題ない。	
	<p>（1）前川光共産現職は適正と。判断の理由を問う。</p> <p>（2）会派「のぞみ」現地をじっくりと徒歩で知見の結果、要は久保川からの堤の下の取水穴からとなる形が中心。実態は～要は3～4年間今もポンプ無くても取水取入れは結果OKであった事実。</p> <p>係る担当職に伺う。係る議案について、該当地への前川光共産現職の同行視察の日時を問う。</p> <p>（3）会派「のぞみ」にて逆質問で某住民さんに教えを求めた今迄どおり大池の貯めた水をすぐ下の雨水道路側溝へと自然流下で即必要な水量は確保できる形で・・・？その通りであるが、ポンプならボタンで即となる。尚、前川光共産現職が中の池への貯水を停めた為に大池へも水は来ない。従って大池の出口からの水が無く、その分色々な余分の作業となっているとしての怒りである。係る原因者は前川光共産現職である。どうする。答弁を。</p> <p>（4）会派「のぞみ」の指摘～</p> <p>前川光共産現職は全町民に対して2千万円の損害弁済を求める。</p> <p>答弁を求める。</p>	
【まとめ】		
	<p>（5）町道1号と久保川の交差西にポンプのコントロールで、地下約120mからの地下水を汲み上げる形です。つまり地中の水量も少量です。ポンプ修理後のポンプの作動で、そっくり地上の7枚の田畠に先取りの為に天然水の先盗りとなります。答弁を求める</p>	

令和7年大山崎町議会第4回定例会一般質問（⑥-6/7）

質問者	波多野 庵砂（のぞみ）	
質問事項		答弁を求める者
る。		
<p>㊟天王山の美味しい地下天然水とは、この久保川筋の地中から一番近道となる夏目の井戸の地中となります。違うと言うならその物理的理由を付してこの場での反論での証明を前川光共産現職に求める。</p>		
<p>㊟当方による知見で、天王山からの地下水の流れについて、スキ一の如し直滑降の地中の水流は、天王山筋で確認した南東の桂川へ流れている。</p>		
<p>㊟従って当町の天王山の天然水は、久保川筋の小倉神社奥から有難い宝の水がメインである。</p>		
<p>（6）異論あればこの場で答弁を求める。尚、科学的根拠を示して下さい。</p>		
<p>（7）係るポンプ作動で久保川町道1号下120mから大量の地下天然水を汲み上げる形は、肝心の夏目水道の井戸に届かずとなる。異論あるとすれば夏目の地下水は何処から来るのか。明確な答弁を求める。</p>		
<p>（8）久保川メインの天然水が7枚の田に先盗りで、夏目の水道水は24時間でプール6杯との答弁があったが、その水量の地下水は夏目の北方の長岡京市でも、人口8万人強の水道水を汲み上げS社大口があり、従って無の想定期待出来ず。答弁を求める。</p>		
<p>（9）桂川からの浸透水にPFASの報道の答弁を求める。</p> <p>長岡京市の東方の井戸からPFAS検出で高目として閉鎖の報道</p>		

令和7年大山崎町議会第4回定例会一般質問（⑥-7/7）

質問者	波多野 庵砂（のぞみ）	
質問事項		答弁を求める者
<p>があった。久保川からの天然水の先盜で相当水量について、危ない桂川 PFAS を大量に呼び込む形。前川光共産現職の施策とは、単に忖度施策であり許せず。次の選挙の一大争点となる。</p> <p>首長のみで将来が左右に。危ない PFAS 入り夏目の地下天然水の危機。答弁を求める。</p> <p>(10) 仮に前川光共産現職の PFAS 混入過多。夏目の地下水が閉鎖で府営水一本政策の危うさを考慮とは、二元地下水を今迄2市一町共に管理継続しているが、大山崎町ではポンプ4ヶ所、実質0ヶ所の形となり兼ねず。つまりこうした実情が理解出来ていない実態が見て取れる。答弁を求める。</p> <p>(11) では府営水1本の一元でいいのかについて。</p> <p>水道価格コストは下がるが万一の断水リスクは高まり兼ねずとなるとは、万一の災害による中長期断水リスクである。答弁を求める。</p> <p>(12) 更に府営水・丹波日吉ダムルートは、園部・八木・亀岡・桂川嵐山取水は地下トンネルで桂坂の高台の浄水場となる。</p> <p>【何が言いたい】～長い河川の道中、色々な施設工場の京丹波エリアの発展の反面リスクとは、PFAS は熊の如しの注意が必要です。答弁を求める。</p> <p>(13) 命の水・生活の水の2元供給の形は断じて譲らなければなりません。尚、関連・・あれ程大山崎町の地下天然水を譲ると宣伝の今迄の前川光共産現職と共産与党の変わり身に驚く。答弁を。</p>		

令和7年大山崎町議会第4回定例会一般質問（⑦-1／1）

質問者	小畠孝信（公明党）
質問事項	答弁を求める者
1. 重点支援地方交付金について	町長
<p>11月21日に閣議決定した「物価高対策案（重点支援地方交付金）」のメニューの中に「自治体独自の物価高対策」が入っている。</p> <p>（1）スケジュールはどのように考えているのかを問う。</p> <p>（2）町独自の支援はどのように考えているのかを問う。</p>	
2. 現行の大山崎町総合計画の産業・都市基盤分野について	町長
<p>現行の総合計画における産業・都市基盤分野の「8 道路・公共交通」の将来のめざす姿は「交通の快適性・安全性・利便性が向上したまち」となっているが、その成果指標である、①「生活道路の安全・快適さ」、②「歩道の段差・安全性」、③「バス交通の便利さ」、以上3点のP・D・C・Aの結果と令和8年度からの施策と成果指標を問う。</p>	
3. 奨学金代理返還制度の導入について	町長
<p>奨学金返済負担軽減支援制度は町内の企業は1社のみが制度を導入されていますが、申請期間が2026年1月末で終了となります。広くこの制度を使う企業を増やす取組をすべきと考えるが如何か。</p>	

令和7年大山崎町議会第4回定例会一般質問（⑧-1／2）

質問者	朝子直美（日本共産党議員団）	
質問事項		答弁を求める者
1. 住民参加のまちづくりについて		町長
<p>（1）大山崎町第4次総合計画では、協働のまちづくりにおける行政の役割を「住民や事業者が活躍できる場や仕組みを整えながら、多様な活動を結び付け、支援していく」としている。この間の取り組み状況と次期総合計画にむけての検討状況はいかがか。</p> <p>（2）住民との協働を進めるには、町行政が、まちづくりに寄与している住民の活動状況を把握する必要がある。町内で様々な活動に取り組んでいる個人、団体の活動交流の場を町主催で行ってはどうか。</p> <p>（3）現在策定中の第5次総合計画について、素案を説明する「住民説明会」を開催し、パブリックコメントに加え、より多くの住民の声を聞くことを求めるがいかがか。</p>		
2. 低所得世帯へのエアコン購入補助について		町長
酷暑による熱中症から住民を守るため、エアコン購入補助事業を実施する自治体が広がっている。「健康のまち」を重点にとりくる本町でも、経済的理由による健康格差を是正する観点から実施することを求めるがいかがか。		
3. 子育て支援策のさらなる充実について		町長
来年度より全国で実施される「こども誰でも通園制度」は、子どもにとっての成長の場・機会の確保や保護者の孤独・不安解消、相		

令和7年大山崎町議会第4回定例会一般質問（⑧-2/2）

質問者	朝子直美（日本共産党議員団）	
質問事項		答弁を求める者
談支援を目的としている。		
<p>（1）本町において同様の役割を果たしている地域子育て支援拠点事業（ゆめほっぺ、こざくらひろば）の、さらなる充実についての考え方を問う。</p> <p>（2）保護者のリフレッシュや私的な理由による一時保育について、利用日数の上限を引き上げてほしいとの住民要望に応えるべきと考えるがいかがか。</p> <p>（3）年度途中での保育所入所の希望がかなわず、一時保育の非定型サービスや認可外保育所を利用している「待機児童」がいる。「いつでも保育所に入れる町」とすることを求めるがいかがか。</p>		
<p>4. 個人の尊厳を守る共生社会の実現にむけて</p> <p>政府のインバウンド政策によるオーバーツーリズムの問題や、低金利政策による円安・物価高などからの生活の苦しさを、外国人のせいにして、日本人と外国人の間に対立を持ち込む排外主義が広がっている。</p> <p>7月に開催された「全国知事会議」が排外主義、排他主義を否定する「青森宣言」を採択したように、大山崎町として、排外主義をはじめ、あらゆる差別や分断を否定するメッセージを発信することが、今大切だと考えるがいかがか。</p>		町長

令和7年大山崎町議会第4回定例会一般質問（⑨-1／1）

質問者	山中一成（大山崎クラブ）	
質問事項		答弁を求める者
1. 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の活用方針について問う。		町長

令和7年大山崎町議会第4回定例会一般質問（⑩-1/1）

質問者	徳本修司（れんごう大山崎）	
	質問事項	答弁を求める者
1. 安心・安全なまちづくりについて		町長
(1) 2025年9月1日に施行された、緊急銃猟制度の取り組みについて本町の見解は。		
(2) 2025年11月16日に実施された『総合防災訓練』についての評価及び総括と今後の取り組みについて問う。		
(3) 今年3月の一般質問で防犯カメラの設置について『SAPIC』を紹介させていただいた。その後の調査・研究はされたか。		
(4) 令和7年度予算、木造住宅耐震改修事業費補助金の予算の充足率は100%を達成しているが、今後の補正予算の見通しは。		
2. 子育て支援について		町長
(1) 複合施設建設にあたり、子育て支援センターの機能の充実についてどの様に考えているのか。		
(2) 天王山夢ほたる公園、遊具の増設を検討されているか。		
3. 観光事業について		町長
(1) 町長は、観光事業ではなく住民の皆さまが住み良いまちづくりのために取り組む、と言われているが町長の住み良いまちづくりとは具体的に何か。		
(2) 観光事業として本町に観光入込客数を増やすための方策を検討されているか。		